

登録コード	A9Y40900		開講年度	2026			
授業科目	物理学実験					担当教員	安江 恒 他
英文授業名	Experiments in Physics						小野 裕・上村 佳奈
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室	第1実験実習室			授業形態	実験	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2025Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】3. 【情報分析・発信力】 論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。				⇔	物理的な知識をもとに、実験機器を用いて適切に実験を実施し、データの取得・解析を行い、結論を導くことができる。さらに、それに基づく科学的報告書を作成することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業は集中形式で行います。3つの単位について、それぞれ実験・解析を行い、レポートを作成します。						
(5)授業計画	実施日：2025/8/6（木）～8/8（土） 1日目 8/6（木） 1～5限（2時間×5コマ＝10時間） ・実験計画と準備 ・実験と計測 ・実験結果の解析ととりまとめ ・グループディスカッション、プレゼンテーション 2日目 8/7（金） 6～10限（2時間×5コマ＝10時間） ・実験計画と準備 ・実験と計測 ・実験結果の解析ととりまとめ ・グループディスカッション、プレゼンテーション 3日目 8/8（土） 11～15限（2時間×5コマ＝10時間） ・実験計画と準備 ・実験と計測 ・実験結果の解析ととりまとめ ・グループディスカッション、プレゼンテーション ・授業アンケートの実施						
(6)自主学習の指針	講義時に習得した知識や技術を基に、身近な自然現象の観察を行ってください。常に問題意識を持って自然に接することが自主学習の第一歩です。						
(7)成績評価の基準	授業で示した問題と同レベルの問題を解決することができれば「水準にある」、応用的な事象が解決できれば「やや上にある」、やや難しい応用問題が解決できれば「かなり上にある」、難解な応用問題が解決できれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	1単位当たり「45時間から授業時間を差し引いた時間量」の自主学習時間が課せられています。担当教員の指示を参考にして、授業に対する事前＆事後の学習計画を作成してください。						
(9)テストやレポートの予定	各実施日にレポート作成・提出を課します。						
(10)成績評価の方法	各実施日につきレポート提出を課します。実験への取り組みと、提出レポートの完成度により評価します。 不可：0-59，可：60-69，良：70-79，優：80-89，秀：90-100						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問や相談は原則講義中に受け付けます。講義後はメールで受け付けます。 安江 恒 yasue@shinshu-u.ac.jp 小野 裕 hiroono@shinshu-u.ac.jp 上村佳奈 kamimura@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	掲示等でアナウンスする場合がありますので、掲示板を確認して下さい。 実施日前までに実験の実施場所、準備等についてeALPSに情報を掲載します。 データ取得と解析、プレゼンテーションおよびレポート作成のために、ノートパソコンを持参してください。						
【教科書】	資料を当日配付する予定です。						

【参考書】	特になし
-------	------